

平成 31 年中に全国で 1,061 件の食中毒が発生しています。下の円グラフは原因となった食中毒菌等の原因物質の割合を示しています。近年の特徴として、寄生虫、カンピロバクター、ノロウイルスの 3 物質を原因とする食中毒が多発しており、全体の 80% もの割合を占めている状況があります。

これらの病因物質の予防対策（予防の方法を参照）を考えることは、食中毒全体の発生件数を減らすことになると言っても過言ではありません。

病因物質別 食中毒発生件数(令1年/全国)

